

「土佐藩士森四郎の鐺収集」まとめ表(「刀 武士の魂」展カタログより)

換算は筆者

西暦	購入年月日	購入した鐺、同好の士との交流	代金	換算(円)	購入場所
1828	文政11年8月12日	勝義銘の鐺	不明	?	愛宕切り通し
	文政11年8月24日	千枚ほど見て一枚を買う	不明	?	神田の鐺屋
	文政11年9月2日	菊花長丸形板鐺(勝の字)	200文	13,800	神田鐺屋惣兵衛
		他の鐺	300文	20,700	神田鐺屋惣兵衛
		波に兎図鐺と縁頭	470文	32,430	上野山下
	文政11年9月22日	(日比谷屋敷で中西竹五郎一鐺好き目利き一の話)鐺	不明	?	(日比谷屋敷) 愛宕切り通し
	文政11年9月28日	(中西竹五郎の話)			(日比谷屋敷)
	文政11年11月4日	其阿弥の鐺	不明	?	西久保
	文政11年11月6日	明珍宗利の鐺	不明	?	神田あたり
	文政11年12月8日	肥後形の桐の鐺とその他書画	金3朱+100文	81,900	下谷、浅草あたり
	文政11年12月13日	(中西竹五郎と鐺の話)			(日比谷屋敷)
文政11年12月17日	(中西竹五郎同道で道具屋廻り)			下谷、本郷、小石川、牛込	
文政11年12月23日	(結城三友らと道具屋廻り)上々の金山菊の鐺(結城は肥後遠山の透鐺と、奥村庄左衛門の鐺を買う)	銀3匁	20,100	浅草あたり	
1829	文政12年1月13日	岩間政慮の鐺	銀5匁	33,500	柳原、下谷、本郷あたり
	文政12年1月24日	土産用の江戸鐺	金1朱	25,000	浅草、下谷あたり
	文政12年12月22日	(林と同道)高田本行の鐺	銀3匁	20,100	浅草あたり
1830	天保元年1月24日	早乙女作の鐺	不明	?	不明
	天保元年1月29日	(今森らと同道)			
		早乙女作家貞鐺と同彦左衛門鐺	銀5匁(2枚)	33,500	浅草あたり
	天保元年2月10日	会津政長の鐺	不明	?	本郷、浅草、常盤橋、桜田と廻る
	天保元年2月11日	(奥村らと同道)			
		梅の透鐺(奥村は肥後の古菰の鐺)	金1分2朱	150,000	本郷
	天保元年2月14日	明珍大隅守宗助の鐺2枚	金2朱+200文(2枚)	63,800	平山栄次郎方からの帰路
	天保元年2月22日	(今森らと同道)			
遠山由来の鐺		不明	?	本郷の御成大路	
天保元年4月4日	波に菊透かしの肥後鐺(大秘蔵のものと喜ぶ)	金1分	100,000	日陰町	
天保元年4月10日	(林、今森らと同道)(勘解由様は明石埋忠の鐺購入)			日陰町から本通り辺り	
1834	天保5年8月5日	鍔(鉄)に金で鮎を象嵌の鐺	金1分2朱	150,000	不明
	天保5年9月11日	(小田原平兵衛と同道)			
		菱の透鐺、小判形の板鐺	銀2匁	13,400	不明
	天保5年11月19日	(大町、小田原と同道)越前記内の梅に鶯鐺と、肥後勘平の扇子・団子透鐺、秘蔵のもの購入	大安値(2枚)	?	御成大路あたり
	天保5年12月15日	赤坂の茶笥の鐺	不明	?	本郷あたり
天保5年12月28日	(小田原平兵衛と同道)手持ちの肥後嶋の鐺と其阿弥の鐺に交換	交換	交換	本郷あたり	
1836	天保7年11月14日	薩摩元平の鐺(珍品と喜ぶ)	不明	?	芝御屋敷へ行く途次
	天保7年11月20日	波に千鳥の鐺購入	不明	?	柳原
1856	安政3年9月27日	(戸部、手嶋と買い物)			
		平安城住長士作の木瓜形、阿弥陀べすりの鐺(注:平安城住長吉か?阿弥陀やすりか?)	金2分	200,000	日陰町
	安政3年10月13日	古赤坂の梅透鐺を入手	不明	?	日陰町
	安政3年10月15日	(息子乙吉と一緒に)			
		春田吉春の鐺購入	不明	?	浅草あたり
安政3年10月25日	三蓋菱こぼれ雪地透、象嵌鐺を購入	金3朱	75,000	日陰町	
安政3年11月23日	瓦巴模様の鐺購入	金1分1朱	125,000	日陰町・土器町を廻る。	

(注) 換算レート

1両40万円、金1両(40万円)=4分(1分10万円)=16朱(1朱2.5万円)=銀60匁(銀1匁6700円)=銀600分(銀1分670円)=銭6貫文(銭1貫6.7万円)=5760文(銭1文69円)